

「令和6年度 市民トーク」開催結果（川崎地区）

以下のとおり結果を報告します。

1 日時等

- (1) 日 時 7月1日（月） 午後7時00分～午後8時30分
- (2) 会 場 榛原文化センター 大会議室
- (3) 内 容 市長からの市政報告・地区からの質問
- (4) 参加人数 80人

2 市長からの市政報告

当日の配布資料を添付

3 地区からの質問

別紙のとおり ※事前質問は回答書を配布・当日の会場での質問あり

4 当日の様子



令和6年度 市民トーク（川崎地区）質問・要望一覧

日時：令和6年7月1日（月）

19時～20時30分

場所：榛原文化センター

番号	事項名	担当課
1	藤沢地区通学路の安全対策について	建設課
2	勝間田川の水門管理について	建設課
3	一斉清掃について	建設課
4	松くい虫による枯れ松の早期伐採について	お茶特産課

※この他、提出いただきましたご質問につきましては、後日地区を通して回答いたします。

令和6年度 市民トーク
川崎地区（川崎区）（7/1 開催）
質問事項・説明を希望する市政内容

件 名	①藤沢地区通学路の安全対策について
内 容	<p>藤沢地区の筋交橋から川崎コミュニティー防災センターまでの通学路には、グリーンベルトと赤いポールを設置していただいた。しかし、歩道の幅が60cmと小学生でも傘をさして歩くには狭すぎる。</p> <p>御前崎市の浜岡北小学校では、狭い通学路を広げるため、歩道横の水路側を拡幅し、傾斜地側にはフェンスを設けている。</p> <p>出勤、登校時は交通量も多いため小学生の安全が確保されているとは思えない。浜岡北小のように隣接する水路側まで通学路を拡幅することを要望したい。</p> <p style="text-align: center;">（別紙：浜岡北小付近の拡幅された通学路の写真）</p> <p style="text-align: right;">【担当：建設課】</p>
回 答	<p>筋交橋から川崎コミュニティー防災センターまでを含む、市道勝間田静波線については、過去にはセンターラインが設置されており路側帯が狭い道路でありましたが、令和3年6月に千葉県八街市で発生した、下校中の児童5人が大型トラックにはねられ死傷した事故を受け、令和3年7月に地元、警察、市の三者で緊急点検を実施し、協議を重ねた中で、グリーンベルト及びラバーポールを設置し、歩行空間の確保及び通行車両に注意喚起を行う対策を実施しました。</p> <p>ご質問にあります歩道の設置につきましては、現在進めております学校再編による新たな学校への通学路をどのようにしていくかを地元と協議する中で、共に検討していきたいと考えております。</p>

別紙：藤沢地区通学路の安全対策



浜岡北小の拡幅された歩道部



同歩道部分



拡幅された歩道の支持方法（水路側に設置してある）



要望する通学路（隣接する水路側に拡幅を要望する）

令和6年度 市民トーク
川崎地区（川崎区）（7/1 開催）
質問事項・説明を希望する市政内容

件 名	②勝間田川の水門管理について
内 容	<p>河川水門の重要性は、岩手県「譜代村」を津波から守ったことで立証されている。</p> <p>勝間田川河口の水門が稼働できるか点検実施を要望する。</p> <p>また、強い地震を感知すると水門は自動的に閉鎖する構造と聞いているが、遠方で発生した地震や火山活動による津波警報でも閉鎖するのか、水門閉鎖に関する仕組みを説明していただきたい。</p> <p style="text-align: right;">【担当：建設課】</p>
回 答	<p>ご質問の勝間田川の水門ですが、管理者は県となります。</p> <p>県に状況を確認しましたが、点検については毎年度実施しており、令和5年度の実績では、精密点検を年1回7月、巡視点検を年2回9月と1月、保守点検を年1回11月に実施しているとの回答でした。</p> <p>水門門扉の開閉については、水門に設置した地震計が250ガル（震度6弱）以上の加速度を検知した場合には、門扉が自動落下し閉まります。</p> <p>また、遠方で津波が発生した場合には、県島田土木事務所2階の防災室からの遠隔操作により稼働させ、津波注意報が発令された場合は門扉を水面付近まで下げ、津波警報又は大津波警報が発令された場合は全門扉を閉じるとの回答でした。</p> <p>なお、警報等の解除後の開門についても遠隔操作で行われます。</p>

令和6年度 市民トーク
川崎地区（静波区）（7/1 開催）
質問事項・説明を希望する市政内容

件 名	③一斉清掃について
内 容	<p>高齢化により、各町内会とも一人暮らしの高齢者、高齢者の夫婦世帯、空き家が増加しており、一斉清掃時に側溝のふたを開けることが困難な世帯が毎年増加しており、この傾向は右肩上がりの状況です。</p> <p>こうした状況下でも、側溝の受益者が清掃を行わなければならないのか？</p> <p>町内会によってはお金を払って業者をお願いしているところもある。</p> <p>こうした状況をどのように考えているのかお聞きしたい。</p> <p style="text-align: right;">【担当：建設課】</p>
回 答	<p>この件につきましては、一昨年から継続して質問をいただいております。</p> <p>令和4年8月の自治会行政連絡会で、各地区の愛護運動実施状況や地区で対応が困難な場所についての調査依頼し、側溝蓋の上げ下げや、道路上の樹木の伐採、河川や排水路の浚渫等が困難であるとの回答をいただきました。</p> <p>その回答を踏まえ、令和6年3月の自治会行政連絡会において、令和6年度からの市の対応として2点報告させていただきました。</p> <p>①区や町内会で業者に依頼している場合は、重機等の借上げ料と土砂処分費の補助を行います。</p> <p>また、清掃が困難と回答をいただいている箇所については、適に地元で堆積状況を確認していただき、土砂の堆積が確認された場合</p>

は、建設課に報告をお願いいたします。

報告を元に、建設課でも現場確認を行い、実施の必要性の判断をいたします。

なお、市で実施した際には、住宅地域にある側溝や水路等については、費用の一部を区に負担をしていただきますのでご了承ください。

②今後、新たに清掃が困難な箇所との要望が町内会等からあった場合は、区でも状況を確認の上、建設課まで報告をお願いいたします。

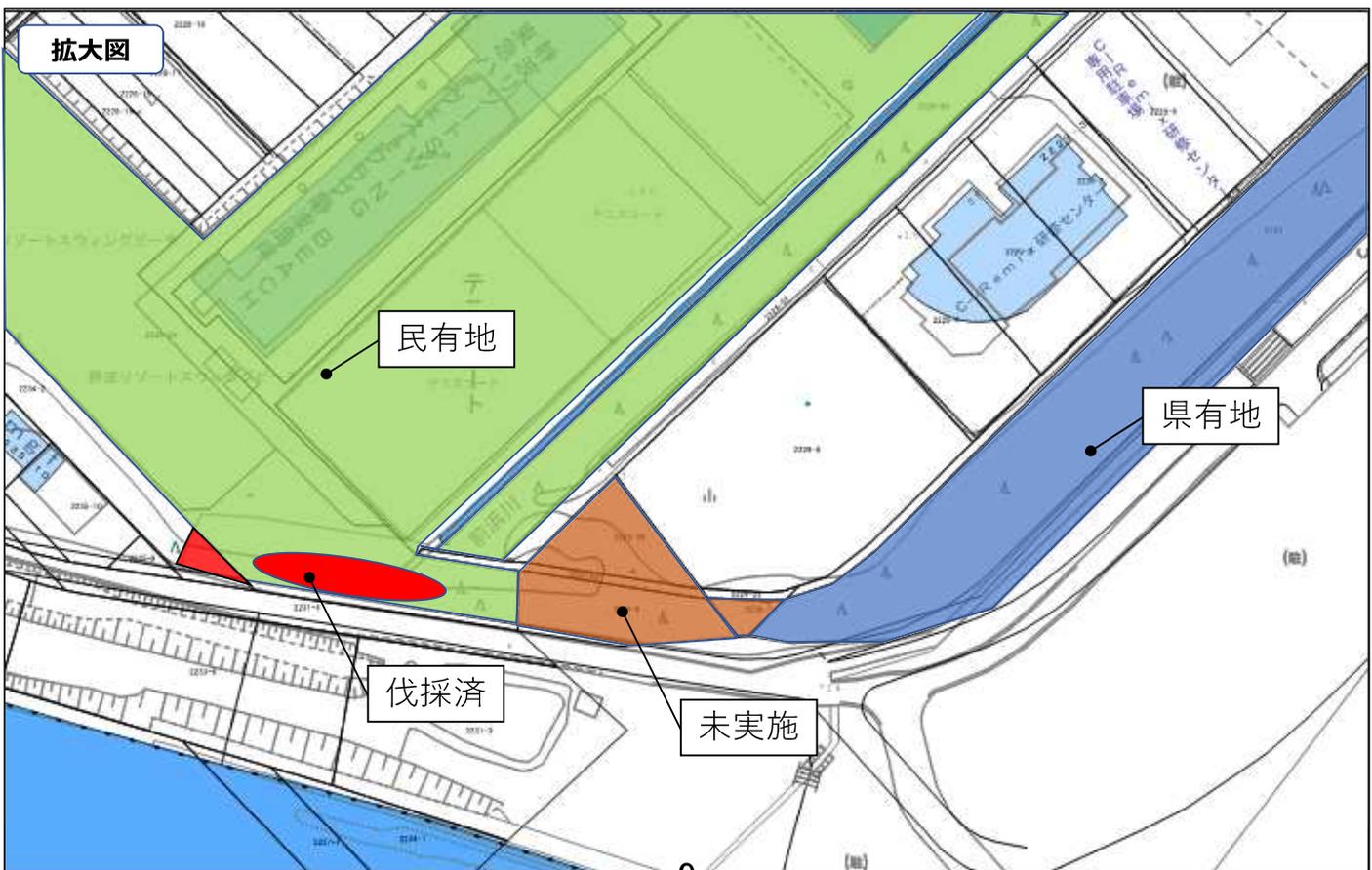
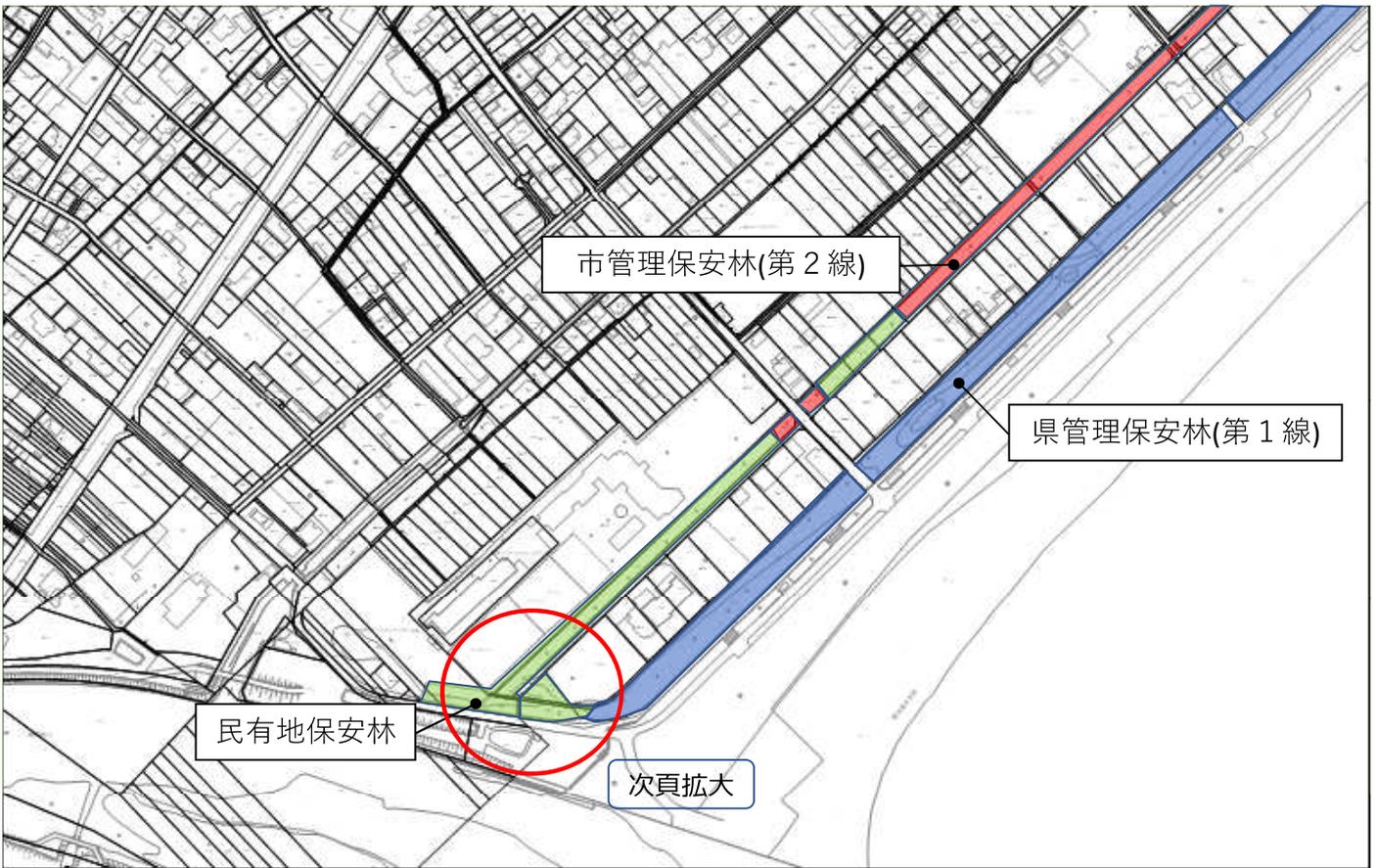
側溝の清掃については、道路愛護運動を活用していただき、その地域にお住まいの皆様に清掃をお願いしているところであります。地区の事情もありますが、市内の道路延長が長く、市の予算で要望箇所すべての側溝清掃を実施することは困難な状況です。

地元の皆様におかれましては、清掃前に土砂の堆積状況を確認いただき、堆積が少ない箇所については、ローテーションを組んで実施するなどにより、みなさまの負担の軽減を図ることも検討していただければと考えております。

また、場所によっては溝蓋を開けることなく、ジェット水流により、土砂等押し流したうえでバキュームにより吸い取るなどの方法による実施も考えられますので、市にご相談ください。

令和6年度 市民トーク
川崎地区（静波区）（7/1 開催）
質問事項・説明を希望する市政内容

件 名	④松くい虫による枯れ松の早期伐採について
内 容	<p>健康増進を目的に毎日ウォーキングを続けているが、歩いていて怖いと感じる箇所がある。</p> <p>勝間田川左岸河口付近の防風林の松が、松くい虫により枯れている場所が至る所にあり、道路の横や防風林内の遊歩道周辺など、強風により枝が折れて落下している場所がある。</p> <p>いつ枝が落ちてこないか、不安を感じながら歩いている。</p> <p>大勢の人が歩いている。安心して歩けるように、早急に枯れ木の伐採をお願いしたい。</p> <p style="text-align: right;">【担当：お茶特産課】</p>
回 答	<p>保安林は、場所により国・県・市・民間等所有者が異なり、ご指摘の勝間田川左岸河口付近の保安林は民間の方が所有し、静波海岸に面する保安林は県の所有となります。</p> <p>民間の方が所有の保安林については、所有者へ伐倒のお願いをしてきており、一部の箇所は、既に実施済みであります。</p> <p>河口付近の残りの部分については、所有者が昨年度末に一部を抜倒しましたが、今後も引き続き維持・管理についてお願いをしております。</p> <p>海岸沿いの保安林については、県としても松枯れの状況を深刻に受け止め、昨年度及び本年度は集中的に抜倒駆除を行うとともに松くい虫に対しての抵抗性のある松の植栽を順次実施しております。</p> <p>また、市としましても、県と連携し、例年5月末には松くい虫防除のための薬剤散布を実施しており、今後も継続的な予防と抜倒駆除を実施し、保安林の維持に努めてまいります。</p>



「市民トーク（川崎地区）」の当日参加者による質問

※会場での質疑応答になりますので、標記が口語体になる場合があります。

追加質問 1 筋違橋付近での自動車学校の車とグリーンベルトの通学について

自動車学校の車が、生徒の乗り換えを筋違橋付近の民家のところで毎回行っている。見ていてかなり危ないと思うが、なぜあそこで乗り換えをする必要があるのか？手前のゼブラの広いところでやれば、もっと安全に乗り換えができると思う。おそらくその場所でやる必要はないと思うが、わざとそういった場所での乗り換えるの必要があってやっているのか？

すぐ乗り換えをして出発すればいいが、見てみたら 15 分ぐらい止まって、生徒に指導なのか説明をしている。

自動車学校に確認して欲しい。

それと子供がポールのある方を帰りに通るというのは、子供には、どのように伝わっているのか？

一応歩行者は右側を通るってことになっているが、子供が両側を通っている。

親御さんにポール側を通る方が安全だから、そちらを通りなさいと言われていた子どもと、歩行者は右側を通るというのを着実に守って歩いている子供といて、同じ時間帯に両サイドを歩いている。

その時に車が両方から来ると、お互いの車が通れなくなってしまう。

子供に対して、どちらを通るということがちゃんと決められているのか？

それとも好きな方を通りなさいとなっているのか？

【回答者（建設部長）】

まず、自動車学校の車の件につきましては、初めてお話をいただきました。

これにつきましては、なぜこのような形でやっているのか、それから今の交通安全の状況も含めて自動車学校にお話をさせていただいて、説明を受けたうえで、別の場所、例えば筋違橋の広いところで乗り換えができないかなどの相談をさせていただきたいと思います。

また地頭者学校と話をした後、区にお話をさせていただきたいと思います。

よろしく申し上げます。

続いてどちらの歩道を歩いたら良いかということについてですが、学校は、基本的には右側通行ということで指導していると思います。

ただ場所にもよりますが、例えば歩道が片側しかない場合は、行き帰りそちらを通る場合もあるなど、場所によっていろいろな通行の仕方があるかと思っています。

今回の場所については、両側グリーンベルトで、西側の片方がラバーポールをつけてあるというような状況です。

実際に、警察と学校と話をさせていただいて、子供にどういった形で通ったら良いかというようなお話ができるように、まずは行政と学校と話をさせていただきたいと思っています。

追加質問 2 竹橋について

竹橋がかなり老朽化している。

子どもはこの道を通って通学しているが、今後どのようにしていくのか？

【回答者（市長）】

橋梁に関しては毎年安全点検をやっています。

竹橋は現状ですと通行に関しては問題ないという結論が出ていますので、すぐに壊れるということはないです。

ただ、幅が狭いということと、大雨のとき、ケタに当たってしまい、それがネックになっている。

私としては、いつと今ここで公言はできないが、あの道路は、必要な道路だと思っていますので、有利な補助金等を使いながら将来計画を立てるということ、地元の区長さん、地域の皆さんと話をしながらやっていきたいと思っています。

とりあえず、今通るには問題ないということではあります。

追加質問 3 日本一女性にやさしいまちについて

「日本一女性にやさしいまち」について、先週公開されました令和 6 年度の市民意識調査の結果が出て、「牧之原市は女性が暮らしやすい街だと思いますか？」という質

問では、「とても思う」と「ある程度思う」が 15.1%で、「あまり思わない」「全く思わない」がその倍になっていて、毎年毎年増えている。

私は女性に優しいまちというのは、高齢者にも子供にも、障害を持った方にも優しいまちだと思うのです。

それから二つ目は、「子供を育てやすい環境だと思いますか」というあたりも、令和2年度は「ある程度思う」というのが 40%だったのが、だんだんだんだん減って、令和6年度には 28%の結果です。

それと今の質問で、「あまり思わない」は 11.5%から現在は 20.8%までに増えている。

そういう調査の実態について、市長は本当に本気でやって考えているのか、本気度を聞かせてください。

【回答者（市長）】

数字が下がっているのは把握しています。

それは施策と市民との思いに格差があるところは当然あると思います。

そこが何なのかという事をしっかりと突き詰めた上で、さらに充実をしていくことが重要だと考えます。

行政サイドで考えていることと、現場で考えているところの違いは当然あるかと思えます。

例えばスーパーが今まであったけどスーパーがなくなった。

それも当然、暮らしにくくなるわけですから、そういったのも考えられます。

しっかりとその原因を追究しながら、施策を早急に講じていくということが大切だと思っています。

本気でやっていますのでよろしく申し上げます。

追加質問 4 静波海岸について

静波の人工サーフィン施設を評価していますが、施設使用料が高いです。

地元の若い人は静波海岸に行っていると思います。

やはり榛南の財産は何ととっても静波海岸ですが、昔に比べると砂浜も変わって波

も小さい。

何とか工夫して、静波海岸にもうちょっといい波が起きるように、市民で考えていく必要があると思う。

なかなか難しいが、そうすれば静波海岸も昔の賑わいをまた取り戻せると思う。

【回答者（市長）】

サーフスタジアムは料金が高くて、富裕層のお客さんが多いです。

やっぱり時間がなくて、どうしてもこの時間しかできないっていう人たちがうまく使えます。

一方で時間のある人たちはやっぱり自然波で楽しむ。

それぞれサーファーの楽しみ方があります。

サーフスタジアムは、大会をやるには、時間でどんどん同じ波が出せますので非常に好評です。

あと外国人が1週間とか10日とか泊まって利用するなど、大勢のそういう人たちが滞在すると、経済効果も上がってくるということです。

民間施設ですので、かけた費用を回収する、それに合わせて価格は設定されているということです。そこはご容赦いただきたい。

それから浜が痩せてきているということは、当然私もわかっています。

この原因は、静波の白砂青松の白砂は、天竜川から流れてきていると言われていて、天竜川の佐久間ダムで、いわゆる土砂がせき止められて下流に流れないので、遠州灘の海岸は海岸浸食が進行している。

もう一つは、御前崎港が出たことによってせき止められて、西側の御前崎の海水浴場に溜まったり、あるいは港の中に砂が堆積したりということがあります。

という事で、今、天竜川の健全化を国土交通省がやっていて、ダムの土砂を掘って下流側へ流して自然に遠州灘に出るような対策が始まっています。

この他にも、福田漁港のところではサンドバイパスと言って、ポンプで東側へ流すというようなことの対策もやっています。

それから御前崎港のところでは、毎年船で浚渫をして、相良の沖で開けています。

この他にも、勝間田川の水門のところも突堤が出ているので、西から来た砂が全部ついて河口を塞いでしまうということで、毎年、雨季前に砂の浚渫をして、静波海岸

へ養浜をする。

サーファーの皆さんからも、入れてもらうとすごく波が良くなったっていう評価もいただいて、島田土木事務所には、継続してやる話をしています。

引き続き川の断面の確保とともに静波海岸の健全化をやらせていただきますので、よろしく願いいたします。